

介護・健康教室で
オンライン講座を開始!

認知症
コース

認知症を正しく理解するために

認知症フレンドリー講座

認知症を「自分事」として
考えるきっかけにする

無 料

インターネットの
接続費用は
自己負担と
なります。



朝日新聞社フレンドリープロジェクト



認知症フレンドリー講座

講座のポイント

認知症を正しく理解するために

超高齢化が進む中、認知症になっても本人の尊厳が守られ、住み慣れた街で今まで通り安心して暮らしていける社会づくり。認知症を「自分事」として考えるきっかけとするために、認知症の人のインタビューを通してその考えを知り、認知症の人の気持ちを理解し、認知症の人とともに暮らす「共生社会」とは何かを考える

講座プログラムの特徴

- 認知症治療の専門医が監修
- 認知症の人が体験や思いを語るインタビューを収録
- 専門医（朝田隆医師）が認知症をわかりやすく解説

【講師】坂田 一裕 氏

1993年朝日新聞社入社。週刊朝日編集部、朝日新聞静岡総局で記者・編集者を経て、新規事業を担当するメディアラボ、総合プロデュース本部で健康医療領域の事業創出を担当。近年は「認知症」をテーマについて取り組み、創刊140周年記念事業の「認知症フレンドリープロジェクト」提案メンバー。

【解説】朝田 隆 氏（東京医科歯科大学客員教授）

認知症治療の第一人者が、認知症とはどんな病気なのかをテーマごとに詳しく解説します。

	項目	内容
■ 認知症を正しく理解するために	導入 認知症のイメージとは ミニムービー（前半）	
	数字で把握してみよう	<ul style="list-style-type: none">・認知症を数字で把握してみる・日本における認知症の高齢者人口の将来推計
	認知症の定義	<ul style="list-style-type: none">・認知症の定義とは・63歳で若年性アルツハイマーに（インタビュー）・変化に気づいた人との関係・朝田医師解説「認知症とはどんな病気」・老化による「もの忘れ」と認知症の違い・認知症の原因となる病気の割合・朝田医師解説「アルツハイマー病の特有の症状は」・認知症の人の世界を疑似体験・VR動画の紹介
	認知症の病理について	<ul style="list-style-type: none">・脳内で起こっていること・原因物質の変化と蓄積について
	認知症に備える	<ul style="list-style-type: none">・年代別リスク分析・生活習慣の改善がリスク低減に
	本人と向き合う	「39歳でアルツハイマー型認知症と診断」（インタビュー）
	withコロナ時代の認知症と介護 ミニムービー（後半）	<ul style="list-style-type: none">・朝田医師解説「withコロナ時代の認知症と介護」